

第一回 笠間市語彙力診断テスト

()年()組 氏名()

1 これまでにもたくさんさんの喧嘩をしてきたが、()というもので、より一層絆が深まった。

- ア 犬猿の仲
イ 出る杭は打たれる
ウ 雨降って地固まる
エ 親しき中にも礼儀あり

2 テニスが強いと言ったって、プロと比べれば()だ。

- ア 蛙の子は蛙
イ どんぐりの背比べ
ウ 月とすっぽん
エ 亀の甲より年の劫

3 あれほど探した家の鍵が、ポケットの中から出てくるなんて、()だ。

- ア 灯台下暗し
イ 嘘つきは泥棒の始まり
ウ 先んずれば人を制す
エ 取らぬ狸の皮算用

4 天気予報は曇りだったけれど、()で傘を持っていったら、やはり降ってきた。

- ア 果報は寝て待て
イ 転ばぬ先の杖
ウ 楽あれば苦あり
エ 仏の顔も三度

5 グラウンドで落としたコンタクトレンズを探すなんて、()だよ。

- ア 二階から目薬
イ 医者の不養生
ウ 頭隠して尻隠さず
エ 棚からぼた餅

6 ()という言葉通り、この道一筋で頑張ったかいがあり、賞をとれた。

- ア 九死に一生を得る
イ 負けるが勝ち
ウ 一寸先は闇
エ 石の上にも三年

7 傘を忘れて雨の中歩いていたら、横を通った車に泥水をかけられて、()だ。

- ア 泣きっ面に蜂
イ 一寸の虫にも五分の魂
ウ 短気は損気
エ ただより高いものはない

8 優秀な彼が、こんな簡単な問題を間違えるなんて、()だね。

- ア 鶯が鷹を生む
イ 三人寄れば文殊の知恵
ウ 勝てば官軍
エ 猿も木から落ちる

9 最近サッカーの練習にも慣れて、いい加減になってしまったが、()で、頑張ろう。

- ア 初心忘るべからず
イ 口は災いのもと
ウ 餅は餅屋
エ 案ずるより産むが易し

10 いくら昔の才能を自慢したところで、()だということを忘れてはいけない。

- ア 鶴は千年亀は万年
イ 玉磨かざれば光なし
ウ 七転び八起き
エ 火のない所に煙は立たぬ

裏へ続く

11 話の基本は（ ）ながら聞くことだ。

ア 揚げ足をとり イ 首をかしげ
ウ 相づちを打ち エ 手に汗をにぎり

12 掃除の時間に友達と話していたら、「いつまでも（ ）んじゃない」と怒られた。

ア 油を売っている イ 浮き足立っている
ウ 途方に暮れている エ 指をくわえている

13 代役で出た舞台が大成功で終わったことに（ ）彼女は、本格的に演技の勉強を始めた。

ア かたずをのんだ イ 味をしめた
ウ 口がすべった エ 水を差した

14 美しい景色を見て思わず（ ）。

ア 腹を抱えた イ きびすを返した
ウ 肩の荷がおりた エ 息をのんだ

15 彼の板前姿も（ ）きた。

ア あっけにとられて イ 目に余って
ウ 板について エ 胸がいっぱいになって

16 総体で実力が発揮できると思うと（ ）な。

ア 目にも言わす イ 口がかたい
ウ 腕が鳴る エ 首を長くした

17 彼とはなんとなく（ ）。

ア 口を出す イ 顔が広い
ウ 馬が合う エ 虫がいい

18 一生懸命話している人の（ ）はいけないよ。

ア あごで使う イ 小耳にはさんで
ウ 腰を折って エ 言葉を失って

19 名医が（ ）しまいたくなるほどの症状をかかえている。

ア さばを読んで イ さじを投げて
ウ すねをかじって エ 腕があがって

20 シェフのフライパンさばきには（ ）。

ア しっぽをつかむ イ 顔がひろい
ウ えりを開く エ 舌を巻く

21 ついに彼女に（ ）ことになった。

ア 手も足もでない イ 目を配る
ウ のどから手が出る エ 白羽の矢が立つ

22 アナウンサーの話し方は、まさに（ ）だ。

ア 玉にきず イ 水に流す
ウ 立て板に水 エ 口に合う

23 母は猫の世話にほとんど（ ）いる。

ア 気をもんで イ 口車に乗せて
ウ 手を焼いて エ 高をくくって

24 抜き打ちテストがあるなんて（ ）だ。

ア 興に入る イ 猫の手も借りたいの
ウ 寝耳に水 エ 鼻であしらう

25 質問があまりにしつこいので途中から（ ）。

ア お茶を濁した イ 猫をかぶった
ウ 肝に銘じた エ 耳を疑った

第二回 笠間市語彙力診断テスト

()年()組 氏名()

1 料理は()で、本を読むよりも実際に自分で作った方が早く上達するよ。

- ア 習うより慣れる
イ 後悔先に立たず
ウ 縁の下の力持ち
エ 人のふり見てわがふり直せ

2 その靴はおしゃれだけど、()で、全体のバランスは悪い。

- ア 嘘も方便
イ 朱に交われれば赤くなる
ウ 蒔かぬ種は生えぬ
エ 木を見て森を見ず

3 中学校を卒業して、もう二十年も経っているなんて、()だ。

- ア 住めば都
イ 郷に入っては郷に従え
ウ 光陰矢のごとし
エ 旅の恥は掻き捨て

4 この服は、()で、夏に着るには暑いし、冬に着るには寒いんだよね。

- ア 親の心子知らず
イ 帯に短し襷に長し
ウ 苦しい時の神頼み
エ 暑さ寒さも彼岸まで

5 知らない人だけど、()と言うから、親切にしよう。

- ア 鬼の目にも涙
イ 時は金なり
ウ 情けは人の為ならず
エ 病は気から

6 考えもなく文章を書き始めるのではなく、()で、よく考えてから書きだした方が早く書き終えることができる。

- ア 馬の耳に念仏
イ 壁に耳あり障子に目あり
ウ 百聞は一見に如かず
エ 急がば回れ

7 コツコツと一円玉を貯金していたら、()で、一万円もたまったよ。

- ア 知らぬが仏
イ 嘘から出たまこと
ウ 宝の持ち腐れ
エ 塵も積もれば山となる

8 優秀な彼が英語を身に付けたら、()だね。

- ア 弘法にも筆の誤り
イ 飛んで火にいる夏の虫
ウ 鬼に金棒
エ 後は野となれ山となれ

9 国語の先生が漢字を間違えるなんて、()だね。

- ア 河童の川流れ
イ 好きこそもの上手なれ
ウ 一石二鳥
エ 能ある鷹は爪を隠す

10 彼女は美容院で働いているが、()というのか、いつも髪型を気にせず一つにまとめているだけだ。

- ア 立つ鳥跡を濁さず
イ 長い物に巻かれる
ウ 後の祭り
エ 紺屋の白袴

裏へ続く

11 予選で負けてしまったので、私は（ ）。

- ア きびすを返した
- イ 横車を押した
- ウ 目を丸くした
- エ 肩を落とした

12 彼はオリンピック選手と（ ）くらいの実力者だ。

- ア 肩を並べる
- イ 大みえをきる
- ウ 一目置く
- エ 目の敵

13 母はいつも妹の（ ）。

- ア 耳を疑う
- イ 肩をもつ
- ウ 身を粉にする
- エ 目を丸くする

14 彼は初対面の相手とはなかなか打ち解けないが、（ ）友人といえる時にはいつも楽しそうにしている。

- ア 気をもむ
- イ 腹を決めた
- ウ 目が高い
- エ 気が置けない

15 決して寄り道しないように母から（ ）。

- ア 釘をさされた
- イ ひぎを交えた
- ウ しっぽをつかまれた
- エ 尻に火がついた

16 なかなか予約をとることができない温泉宿に、（ ）もらい特別に宿泊できた。

- ア 口を利いて
- イ 腹を決めて
- ウ 目を配って
- エ 胸をなでおろして

17 親の言うことは（ ）けど、素直に聞いてみよう。

- ア 目の上のこぶだ
- イ 後ろ指をさされる
- ウ 枚拳にいとまがない
- エ 耳が痛い

18 明日の修学旅行が待ち遠しくて（ ）。

- ア 胸をなでおろす
- イ 胸がいっぱいになる
- ウ 腹をくぐる
- エ 胸をおどらせる

19 このお茶碗を選ぶなんて（ ）。

- ア 口が軽い
- イ 目が高い
- ウ 鼻が高い
- エ 手が付かない

20 彼女の言動は時々（ ）ことがある。

- ア 待ちあぐねる
- イ 目が肥える
- ウ 鼻につく
- エ あごを出す

21 （ ）話してこそ、本当の友人じゃないのか。

- ア 顔を割って
- イ 腹を割って
- ウ 足を割って
- エ まきを割って

22 彼女は本当に（ ）仕事をしてくれた。

- ア 骨の折れる
- イ 猫をかぶって
- ウ 釘をさして
- エ かたずをのんで

23 誕生日にあのプレゼントが欲しい。（ ）ほど欲しい！

- ア のどから手が出る
- イ ひょうたんからこまが出る
- ウ 顔から火が出る
- エ 口から手が出る

24 試験の結果が張り出され、一番になっていたので、とても（ ）。

- ア 口が軽かった
- イ 鼻が高かった
- ウ 腕が上がった
- エ 足を運んだ

25 社長は（ ）物言いをする人だ。

- ア 歯に衣着せぬ
- イ 口を出す
- ウ 鼻であしらう
- エ 水を差す

問題は以上です。

第一回笠間市語彙力診断テスト 解答用紙

年 組 番 氏 名

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| — | | | | |
| ① | ⑥ | ⑪ | ⑯ | ⑳ |
| ② | ⑦ | ⑫ | ⑰ | ㉑ |
| ③ | ⑧ | ⑬ | ⑱ | ㉒ |
| ④ | ⑨ | ⑭ | ㉑ | ㉓ |
| ⑤ | ⑩ | ⑮ | ㉒ | ㉔ |

第一回笠間市語彙力診断テスト 解答用紙

年 組 番 氏 名

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| — | | | | |
| ① | ⑥ | ⑪ | ⑯ | ㉑ |
| ② | ⑦ | ⑫ | ⑰ | ㉒ |
| ③ | ⑧ | ⑬ | ⑱ | ㉓ |
| ④ | ⑨ | ⑭ | ㉑ | ㉔ |
| ⑤ | ⑩ | ⑮ | ㉒ | ㉕ |